

ホソバオケラ

【 *Atractylodes lancea* 】

科名 キク科

属名 オケラ属

薬効・用途

根茎（蒼朮 ソウジュツ）には中枢抑制、胆汁分泌促進、抗消化性潰瘍作用などがあり、啓脾湯、葛根加朮附湯などの漢方方剤に配合される。



・花期：9～10月

備考

多年性草本。中国中東部に自生する。日本への伝来は江戸時代、特に佐渡ヶ島で多く栽培されており、サドオケラ（佐渡蒼朮）とも呼ばれる。通常は雌雄異株。但し、まれに雌花、雄花を着生する株がある。